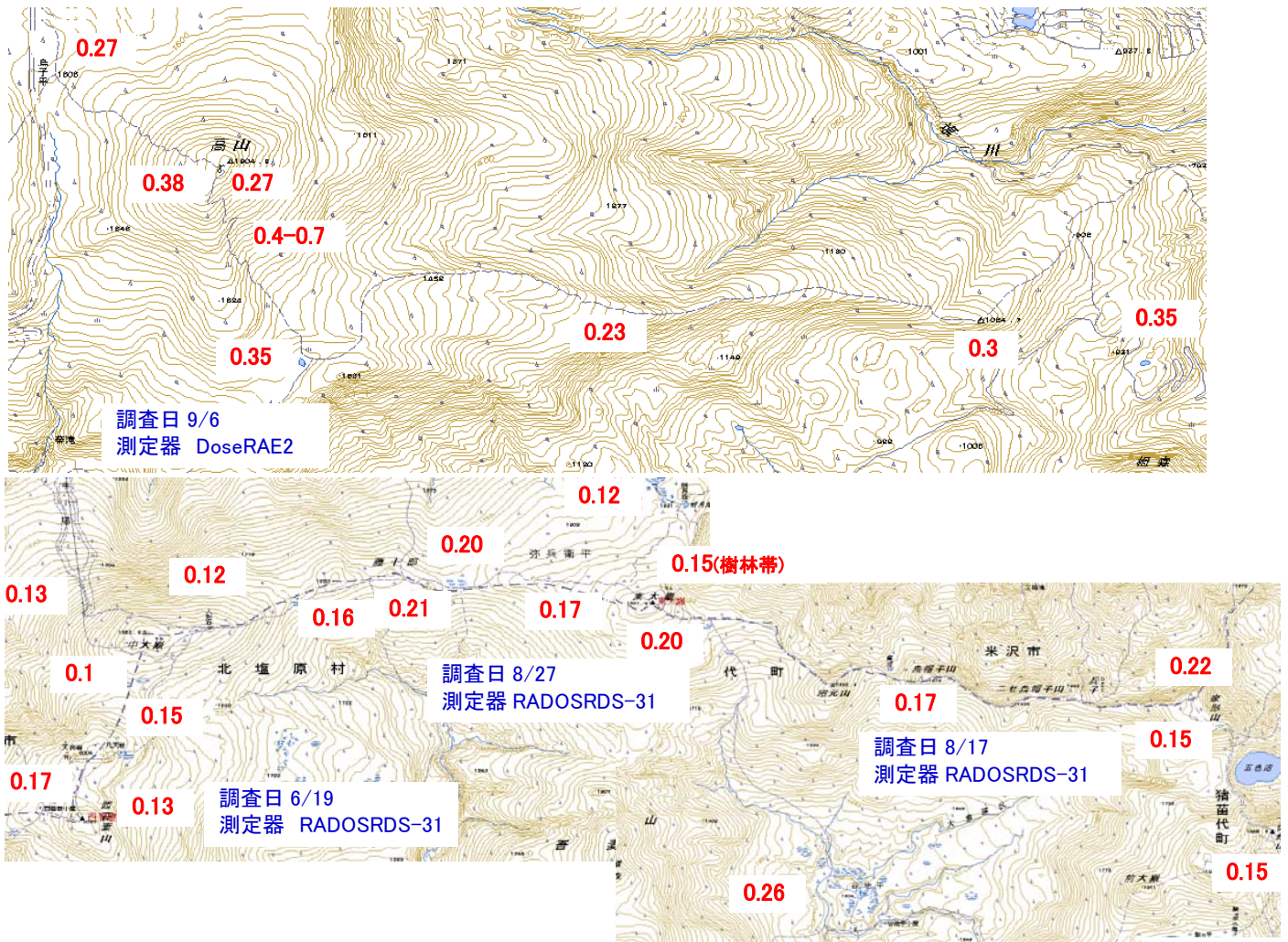


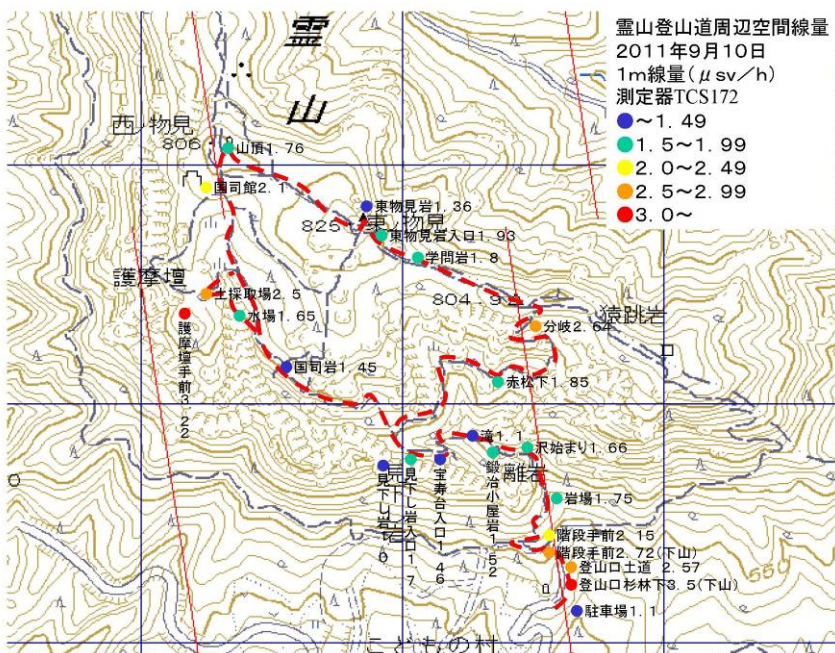
山岳の空間線量マップ

これまでに吾妻・安達太良・磐梯山・飯豊連峰等の山岳の放射線量を測定しております。今回は高山と吾妻連峰縦走路および霊山の放射線量マップを紹介します。

高山と吾妻連峰縦走路の空間線量マップ（測定高さ1m 単位は $\mu\text{Sv/h}$ ）



霊山の空間線量マップ



9月10日(日)に学習院大学・村松教授による霊山登山道および周辺樹林帯の放射能汚染実態調査に奥田・佐藤が同行しました。

麓の居住地より高い放射線量が測定された地点もありました。

広葉樹林では落葉層で高い放射線量が測定されました。針葉樹の林床では登山道より低い放射線量が測定されました。

これはフォールアウト時に葉を着けていた針葉樹が放射性物質を捕捉し傘の役割をしたためです。

しかし、針葉樹林の林床は幹還流水や葉からの雨滴等により翌年の方が放射線量が高くなる場合もあるので針葉樹林帯では来年も注意が必要です。